

事例9

< 事例概要 >

①30歳代前半/ 経産婦/ 不妊治療（体外受精・胚移植法、ホルモン補充療法）。

②妊娠経過特記なし。

③妊娠 39 週に陣痛発来で入院。クリステレル胎児圧出法と吸引分娩を実施し、経膈分娩で児娩出。児娩出から約 5 分後、胎盤用手剥離術で胎盤娩出、子宮内反症を認めたため整復。その直後、血圧低下と頻脈を認めた。児娩出から約 30 分後、輸血を口頭指示、出血量は 1,000 mL以上。

緊急輸血の払い出しに時間を要し、児娩出から約 1 時間後に 赤血球液の投与を開始、出血量は計 2,000 mL以上。児娩出から約 2 時間後、出血量計 4,000 mL以上。児娩出から約 4 時間後、止血困難のため子宮摘出術実施。児娩出から約 6 時間後に死亡。

④癒着胎盤。

⑤解剖無、死亡時画像診断（Ai）有。